

SHISEIKAN!

巻頭言

校長 中道 久雄

新年明けましておめでとうございます。

私の幼年期は、正月(元日)が近づいて来ると、「もういくつ寝るとお正月…」とよく口ずさんだものです。おせち料理は母親が大晦日の夜からこしらえた手作りの料理でした。火鉢を囲み、餅を焼いて食べていたのが懐かしい思い出として記憶に蘇ってきます。また、近所の子供たちと凧揚げやビー玉・面子(めんこ)等々で、時間を忘れ日が暗くなるまで遊びました。近所の小川では小鮒を釣ったり、辺りが暗くなる頃にガス灯にカーバイドを詰め込みその灯りでうなぎテポを仕掛けたり、このような遊びがドキドキ・ワクワクを誘発させてくれました。

“新年”は国によって異なります。私が留学していたイスラエルでは、“ユダヤ暦”に従って新年が決められます。“ローシュ・ハシャナー”と呼ばれ、ユダヤ暦第七の月(ティシュリー)の1日、西暦では9月～10月の“新月”の日と定義されています。

「団塊の世代」と呼ばれる私たちは、遊び方の一つをとっても常に想像力を働かせ、工夫を凝らし自ら必要な物を創る事を必然的に強いられました。

少年期になると、より高い次元へと思慮を働かせ自己のプライドが少しずつ確立し、雑草のように育っていきました。

私の青年期は親元を離れ未知なる世界へと飛び込み、好奇心が旺盛で色んなことにチャレンジしました。私が20代前半の頃、「東京砂漠」という言葉をよく耳にしました。二度と帰郷しないであろう田舎(八代)を離れ、単身上京し、右も左も分からない田舎者が独りでこの「東京砂漠」で生活しようなどと、家族、友人ましては自分さえもそのことを信じませんでした。しかし、敢えて上京することを決断しました。林立するビル群を眺めてはカルチャーショックを引き起こし、標準語で話しかけられるとつい方言(八代弁)が出てしまいました。方言を標準語に解釈するのに苦労しました。

学問を志して上京したものの実家からの仕送りは一切拒絶し、独りでやっていけると吹聴したものの「他人の飯を食う」などと思ってもいませんでした。



“食う為に働く”のか、“働く為に食う”のか、とにかく生きていかなければなりません。こんな低次元の生活が“押しては返し、返されては押す”の繰り返しでした。こんな時、ふと…故郷のことが懐かしく私の心を揺さぶりました。田舎に帰りたいな……。

「ふるさとの山に向かひていふことなし

ふるさとの山はありがたきかな 石川啄木「一握の砂」

人は何か「アクション」を起こすことより、運命が創り出されます。私の人生の起点はこの「アクション」を起こすことにより始まりました。単身上京し、三年後に中東のイスラエルへと旅立ちました。私が生活の拠点としたのが[注]キブツ・ヘフチバで、背後にギルボア山(標高 518m、ヨルダンとイスラエルの国境近くに位置する)を仰ぎ見ることができました。

私の故郷には、実家から東方を仰ぎ見るとギルボア山と酷似した「竜峰山(標高 517.2m)がそびえ立ち、幼・少年時代は兄たちと一緒に「うさぎ追い」や「メジロの捕獲」をして遊んだものです。

今も変わらぬ故郷の山を仰ぎ見る時、過ぎ去った半世紀が懐かしい記憶となってきます。

生徒の皆さん！ 皆さんたちには誰も予見できない素晴らしい未来が待っています。そのことを信じて現実化されますように「一日一生」の思いで歩んで下さい。平成27年が生徒の皆さんにとって素晴らしい一年でありますように、また、生徒の皆さんの前途に神様の御加護がありますよう祈念いたします。

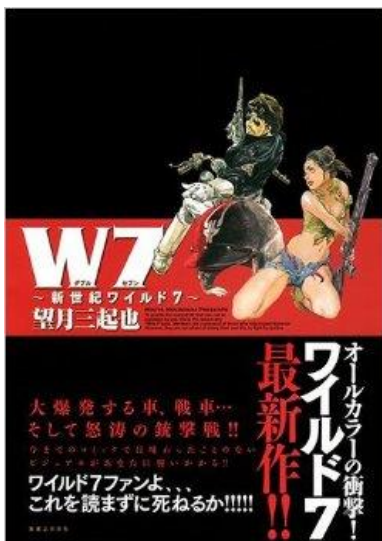
合掌

[注]キブツ：イスラエルにおける農業共同体の一形態。キブツでは個人が財産を所有せず、全財産は集団所有となる。徹底した共同生活、子供の共同育成などを特色としている。1909年(明治42年)東欧から移住してきたユダヤ人によって最初のキブツが誕生した。現在、イスラエル全土に約270の共同体が存在し、その人口はイスラエル全人口の2.2%(約12万3千人)で、構成員は60～2000人と一定していない。

橋本先生のコミックセラピー

農園療法や音楽療法など様々な活動から癒しの効果が認められるようになりましたが、実はマンガでも証明されるようになって来ました。そんなマンガによる癒しを「コミックセラピー」と言います。

理屈抜きに面白いマンガを読んで スカッとした人にオススメのマンガ



W7 ~新世紀ワイルド7~

【実業之日本社】

作：望月三起也

平成26年11月28日発売 B5判460ページ
本体価格 5,000円+税

健康でいこうコラム 中熊和典



12月10日(水)
第6回「整体講座」

平成26年ももうすぐ終わり、新しい年を迎えます。

平成26年度の高等学院の授業「体育」の時間から、菊陽町『緑の杜整体院』のリンパケアインストラクター／整体師の下田高裕先生を毎月1回お招きするようになりました。それは、身体の不調を治すことについて、病院やお薬だけに頼るのではなく、自分自身の治癒力にも

なんかこうモヤモヤとした空気感が抜けないまま、平成26年も終わろうとしている。そんなとき、マンガを読んで思っきりスカッとした人にイチオシの作品を紹介しよう。それがマンガ史上に燦然と輝くアクションマンガの金字塔『ワイルドセブン』の最新作『W7』だ。

60年代から続くこのシリーズに、男たちははびれた。悪人を裁く警察の超法規的集団ワイルドセブン、そのリーダーの飛葉とその仲間たちが最後の最後に見せる爆発的な活躍に、私たちは健さんが登場する任侠映画のようなカタルシスを感じていた。

息もつかせぬアクションシーン、細部にわたって描き上げられたメカ、キャラが立ちまくっているヒーローたち、そして圧倒的な力を持つ敵方…ハリウッド映画のように巨額の費用をかけなくてもたったひとりのマンガ家がペーン一本でここまで表現できることに驚かされた。

連載がはじまったのはまだ私が学生の頃、今からは想像もできないくらいスリムでエネルギーにあふれていた昭和44年(1969年)のこと、あれからもう45年が経過した。掲載誌を替え、メンバーを入れ替えながら現在も続いているというのだから驚きだ。君たちのおじいさんもお父さんもきっと若い頃にこのマンガにはまったことがあるに違いない。

ただ、読みながらいつも気になっていたことがある。このマンガの迫力は大画面でこそ伝わっていくものなので、掲載誌のサイズ(B5判)より小さくするとその良さがどんどん失われていくことだった。またせつかく細部にこだわって描いたメカや背景なのでモノクロではなくカラーで読みたいと常々思っていた。

読者のそんな思いが伝わったのか、今回描かれた新作は大画面のB5判、460ページ全編オールカラーということで、いままでのコミックでは味わったこともないビジュアルが読者に襲いかかる。45年間の作者と読者のフラストレーションが一気に爆発する。内容の説明は不要、とにかく読んでみてほしい。

さあ、年末年始は、『W7』を通して「時代を超えて読み継がれてきたマンガ」を思っきり楽しんでみよう。

目を向けたいと思ったからです。そのためには、まず自分の身体に目を向ける必要があります。自分の身体に意識を向けることで、普段の変化が分かります。身体の変化に敏感になると、身体の好調も不調も分かることが出来るようになります。12月の整体講座では、どんな症状にどんな対処法があるかを、生徒自身が考えてくれる姿も見られました。

自分の身体とは、死ぬまでの付き合いです。これからも、病気になりにくい身体、病気を治しやすい身体との付き合い方を学ぶことが出来ればと思っています。



日	曜	
1	木	
2	金	
3	土	ひなたぼっこの会
4	日	
5	月	【大受】冬期講習
6	火	【大受】冬期講習
7	水	【大受】冬期講習
8	木	【大受】冬期講習
9	金	【大受】冬期講習 【高等学院】始業式／書初め大会
10	土	
11	日	
12	月	(成人の日)
13	火	【高認】第Ⅱ期開講 【大受】センター試験対策講座
14	水	
15	木	
16	金	
17	土	【大受】大学入試センター試験
18	日	【大受】大学入試センター試験
19	月	【大受】大学入試センター試験自己採点会
20	火	
21	水	【高1・高2】定期試験
22	木	【高1・高2】定期試験 【大受】データネット入力手続き
23	金	【高1・高2】定期試験 【大受】二者面談
24	土	公開講座「コミュカアップ」
25	日	【高3】三者面談
26	月	【高3】三者面談
27	火	【高3】三者面談
28	水	【高3】三者面談
29	木	【高3】三者面談
30	金	【高3】三者面談、授業終了、卒業写真撮影 【大受】授業終了、準備コース終了
31	土	【高3】三者面談、卒業を祝う会(保護者)

■24日(土) 公開講座「コミュカアップ」

14 時より、熊本校の多目的ホールにて、公開講座「オープン・マインド～心を開いて」を実施します。簡単な心理テストをしていただき、自分の心の窓がどの程度開いているかチェックします。

在校生・保護者の皆様のご参加も大歓迎です。

高等学院

★後期レポート提出期限は過ぎています★

未提出のレポートがあればその科目の定期試験を受験できず、卒業や進路にも大きく影響します。

もし、未提出のレポートや未受験の試験があれば、速やかに提出・受験してください。

■9日(金) 始業式／書初め大会

新年最初の行事として書初めを行います。自分が書きたい字をあらかじめ考えておいてください。

<1・2年生>

■21日(水)～23日(金) 定期試験

後期の成績が決まる大事な試験です。返却されたレポートを見直し、試験にのぞみましょう。

<3年生>

■30日(金) 総合学習(卒業写真撮影)

現在、3年生の皆さんが執筆している作文はまとめて1冊の文集になります。その文集に掲載する写真を撮影します。3年生の皆さんはこの撮影に必ず参加してください。

大学受験科

■19日(月) センター試験「自己採点会」

別紙でお配りした年末年始の予定表に既に記載済みですが、午前10時から行います。当日の指定された時刻に得点表が回収されるため、遅刻すると本当にリサーチは受けることができません。また、疲れているとは思いますが午後は通常授業が行われます。

■23日(金) 二者面談

センター試験の結果から、出願可能な国公立大学を検討します。必ず登校してください。

■30日(金) 平成26年度「大学受験科」閉講

本日をもって平成26年度のすべての授業が終了となります。入試結果は、その可否に関わらず、必ず志成館に連絡してください。

高認受験科

■13日(火) 第Ⅱ期開講

本日より高認受験科の第Ⅱ期が始まります。

■写真でふりかえる 平成26年12月のできごと■

12月4日(木) 自分が選ぶ「平成26年の漢字」



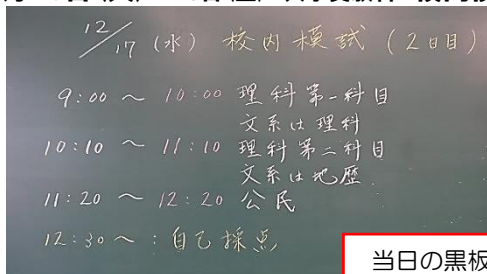
高等学院3年生の授業「心理コミュニケーション」にて、“平成26年を表す漢字一字”を考える時間を設けました。

- 「笑」笑顔が多い一年だった。
- 「挑」いろんな検定に挑戦した。
- 「続」勉強をコツコツ続けた。

そのほか、受験勉強で何度も壁にぶつかったり、自動車学校で初めて車を運転したり…。



12月16日(火)～19日(金) 大学受験科 校内模試



当日の黒板

12月16・17日の日程で、大学入試センター試験の模試を行い、18・19日には各科目の解説授業を行いました。各科目で開始・終了時間を設定し、模試の受験から自己採点まで行いました。

校内模試の実施に伴って17日の大学受験科の授業は午後休講となりましたが、模試の終了後も生徒が教室で静かに自習する風景がありました。

また、大学受験科では12月22日(月)～27日(土)と、1月5日(月)～9日(金)の日程で冬期講習が行われています。



12月17日(水) “くまもとお仕事探検フェア”

グランメッセ熊本で行われたイベントに参加しました。本校生徒が民間企業や各種学校の方々とお話し、自分たちの将来について考えてみる良い機会になりました。



＜終業式とクリスマス会を開きました＞



八代校と熊本校[高等学院3年生]は12月11日(木)に、熊本校の高等学院1・2年生は12月19日(金)に、各校でそれぞれクリスマス会を行いました。

シフォンケーキをデコレーションしたり、ピザを食べたり、ビンゴ大会をしたりなど、学年の枠を越えて楽しい時間を過ごすことができました。

なお、終業式の日には校内の掃除をしました。職員が特に指示をしなくても、自分で汚れているところ見つけて掃いたり拭いたりする様子が目立ちました。



●冬期休暇中の熊本校の様子●

高等学院では終業式を終えて冬期休暇中ですが、この期間中も生徒が学校に自主的に登校している様子を見られます。自分で買った参考書を使って勉強をしたり、まだ提出できていないレポートを作成したり、漢字検定の勉強をしたり、事務の手伝いをしたり、3年生の生徒は新年度に進学する学校から課された入学前の課題に励んだり…校内ではいろいろな光景が見られます。

熊本校は1月5日(月)から、八代校は1月9日(金)から学校は開いています。

先生たちのつばやき

新年おめでとうございます。3年生にとりましては、卒業式まで数えるほどしかありませんね。1月は、最後の高校生活をできるだけ楽しみましょう！これまでと、登校する日が少なかった人も学校に出て来ませんか？クラスの仲間たちとの思い出を一杯作りましょう！卒業してから、ずっと付き合える素敵な仲間であって欲しいです。

卒業式の2月7日(土)のことを考えると、日ごろ涙が似合わない私もじわーっと来るものがあります、「卒業式で、清田先生を泣かせる！」って言った生徒たちを裏切るためにも、今年も絶対に泣きませんからね！

(— —)!!(清田)



平成26年を振り返ってみると、様々なことをやってみた年でした。合気道を習い始めたり、整体を習いに行ったり、木工芸の体験をしたり、資格を取得してみたり、会いたいと思っていた人と話をする機会をもらったり、どれも1年前は「やってみたいな」で止まっていたものばかりです。自分の好きなことで動きはじめると、共通の趣味を持った人と出会うことができます。平成26年の私は色んな人との出会いで、前年よりも人生が加速した気がしています。今年もさらに充実した人生へ加速させるために、いろんな人と出会いたいと思っています。

(中熊)



いやあ、平成26年はいろんな意味で不完全燃焼だったなあ。平成27年の目標を言っておきましょう。

「学校をもっと面白くします、仲間をもっと増やします、そしてもう少し痩せます。」(橋本)



あけましておめでとうございます。平成26年は『ものづくり』を通して、たくさんの方々とお会った年でした。今年もどんなことが起きるのか、今からワクワクします。

さて、3年生はいよいよ卒業、2年生は進路決定、そして1年生は4月からは先輩となる年と、新しいことが待っています。ぼちぼちで良いので、楽しんでいきましょう♪(金丸)

平成27年、新しい年がスタートします。

今年もまた、アツと言う間の一年になりそうな気がしています。そのようななか毎年、新入生・転入生との、たくさんのお会いがありますが、ゆっくり、じっくりの対応を心がけたいと思います。

また、たくさんのお会いを楽しみ、皆で笑顔の「志成館」にできたらいいな！

今年も、どうぞよろしくお願いいたします。(高橋)



本当に時が経つのは速いものだと改めて実感いたします。大学受験科の皆さんとは昨年の春に初めてお会いしましたが、もうセンター試験を迎える時期になってしまいました。人生の転換点ともなるような勝負を目前に控えた受験生の皆さんの心中を察すると、最後までしっかりとお役に立たなければと思います。(濱津)



自転車によく乗ります。普段、八代校勤務の時はJRで熊本駅から八代駅まで移動しますが、6ページに掲載の八代市の県民集会に参加した日、私は熊本市の家から片道35.5kmを自転車で約2時間かけて移動しました。沿道では田んぼや牛舎を見つけたりして、「あー…こんな風景があるんだ…」とふっと立ち止まってしまいました。当日は涼しく感じる程度の気温で寒くもなく、意外なほど疲れもせず、良いサイクリング日和でした。

12月7日(日)は熊本駅の西へ東へ、田崎市場でイカやクジラを食べたり、数時間後には交通センター周辺の“くまフェス”の様子を見に行ったりしました。間もなく閉店となる県民百貨店の屋上に登っては、熊本市の景色をのんびりと眺めてみました。熊本の幹線道路は今もよくわからず、生徒の皆さんに聞くこともたまにあります。たまには地図を片手に、ノープランでのんびり出かけてみると楽しいですよ。今年もいろいろな場所でいろいろな経験をしてみたいと思っています。

そんな私の自転車ですが…12月12日(金)の通勤中に急にパンクし、当日中に修理に出しました。日ごろ使うものは、メンテナンスもぜひお忘れなく。(山口)



■高等学院「総合的な学習の時間」■

11月28日(金) ようこそ! 先輩(九産大4年生)

高等学院の卒業生(平成23年3月卒)を招き、在校生への授業の時間を設けました。写真撮影時のカメラや被写体の位置などといった、キレイな写真撮影方法の講座が開かれ、講座後は実際に学校周辺でいろいろな写真を撮影してみました。

↓ビフォー

↓アフター



卒業生は高校時代から鉄道写真が趣味でした。大学でも写真について学び、大学卒業後は列車の中で写真を撮るサービスの会社に就職します。好きなことを続け、さらに好きなことがそのまま仕事になったことが、職員として嬉しく思っています。



12月5日(金) 歩道の落ち葉掃除



12月に入り、熊本市や八代市の日中の気温が10℃未満の日も珍しくなくなりました。この時期の熊本校周辺の歩道にはイチョウの葉が大量に落ちています。

5日(金)、高等学院の全学年合同で掃除をしました。ホウキなどを使って落ち葉をたくさん拾いました。

発達した低気圧の影響で風が強い日も多く、学校の窓から見える街路樹の葉は雪のように舞っていました。

“定時制・通信制の灯を消すな！”

熊本県民集会のご報告

(11月29日(土)、八代市のホテル『大黒屋』にて)

熊本県内の定時制・通信制高校の卒業生や保護者、学校教職員、来賓の方々など、60名ほどの参加がありました。当日はパネリストや参加者どうしの質問も飛び交い、

「日本に“定時制高校”や“通信制高校”が無かったら、自分は高校を卒業していただろうか??」

「家から学校に行くまでは大変だが、学校の中では楽しい」

…という発言は、職員として考えることがいろいろありました。



今回のこの県民集会は、主に熊本県内の「公立」定時制や通信制高校からの参加でしたが、県内には志成館高等学院のような「私立」通信制高校もたくさんあります。

いろいろな学校があれば、自分に合う学校も必ずあります。しかし“学校が消える”とは進学の選択肢がひとつ消えることも意味しています。今回のようなシンポジウムが今後も継続できるように、定時制・通信制高校の必要性をもっと発信していかねばいけません。

第50回 熊本県高等学校書道展 本校生徒入賞のご報告

平成26年度、第50回「熊本県高等学校書道展」に、県内の47高校・310名の生徒からの出品がありました。

審査の結果、高等学院2年生の生徒の作品が「優秀賞」を受賞しました。「優秀賞」選出は15名で、県内でも上位23名に入賞となりました。おめでとうございます。

なお、作品は熊本県立美術館の分館に展示されました。

※『SHISEIKAN!』通信の挿絵は、『イラストわんぱぐ』(<http://www.wanpug.com/>)のフリー素材を使用しています。



日本航空高校【熊本キャンパス】

志成館高等学院

志成館【高認受験科】

志成館【大学受験科】



〒862-0973 熊本市中央区大江本町7番3号 (味噌天神バス停徒歩0分/味噌天神となり)

TEL 096-366-1008 FAX 096-371-3871 ホームページ URL: <http://www.siseikan.net>

ご意見・ご感想をお聞かせください。 メール: sg1008@siseikan.net